

## 意見公募手続回答書

		コード	37
案件名	かすみがうら市小中一貫教育基本方針（案）		
募集期間	平成29年11月1日 ～ 平成29年11月14日		
意見受付件数	3件（9項目）【郵送 0件、持参 1件、FAX 0件、電子メール 2件】		
担当課	学校教育課		
No.	意見の要旨	市の考え方	
1	5 小中一貫教育推進の方法 （4）学校運営協議会制度について		
①	学校運営協議会制度の検討プロセスには、教育委員会・教職員・保護者・地域住民が同じテーブルについて議論することが不可欠だと考えます。	学校・地域・保護者の皆様との連携体制を確保し、さらに強化していくために、調査・研究を進めてまいります。	
2	6 小中一貫教育推進の形態 （2）施設形態について		
①	9頁中段の表の施設形態のどの型にするのか関係方面の意見を聞く時間がなく、平成30年度には基本設計に入れないのではないかとと思われる。現表現では、ハード面の設計スケジュールとの関係が不明確であり、開校予定の時期を踏まえた具体的表現にすべきではないかと思料する。	小中一貫教育基本方針の策定は、平成29年12月末を目標に進めています。施設形態については、この基本方針を、千代田中学校区統合小学校整備基本計画策定委員会へ説明し、学校、保護者、地域の方々などの代表である委員の皆様からもご意見をいただき、平成30年3月の整備基本計画の策定までには、道筋をつけてまいります。	
3	10 かすみがうら市教育委員会の役割 （2）小中一貫教育の啓発		
①	小中一貫教育を取り組んでいくうえで最も大切なことは、学校と保護者を含む地域住民との【協働】だと考えます。この小中一貫教育への移行時期が【協働】に入門する良い時期だと考えますので、啓発のための情報を流し、会合をきめ細かく実施していただきたいと存じます。	平成34年度までの移行の準備期間には、ホームページや広報誌により情報を発信するとともに、中学校区に応じて地域の皆様の意見を聴く機会を設けていくことを想定しております。その中で、十分に調整を図ってまいります。	
4	11 かすみがうら市小中一貫教育推進5カ年計画		
①	千代田中学校区もこのスケジュールで問題ないのか？ハード面の設計スケジュールとの摺り合わせが必要と思料する。	小中一貫教育推進5カ年計画の準備期間においては、小小連携に重点を置きながら小中連携の取り組みも強化・推進し、平成34年度の小中一貫教育完全実施に向けての円滑な移行を目指してまいります。	

5	その他	
①	千代田中学校区については、中学校のすぐ近くにある私立高校との連携策を取り入れた公立小中一貫校の検討を提案したい。	ご提案いただいた私立高校との連携については、部活動やボランティア活動での協力を通しての生徒間の交流なども想定され、確かに特色ある学校づくりのための一案と考えられるところですが、可能性のひとつとしてとらえ、今後十分に調査・検討してまいります。
②	千代田中学校区の志筑・新治・七会・上佐谷小学校の統合問題の整理が図れていないと思うが。	市長の方針表明により、今年度、小中学校適正規模化実施計画の一部見直しについて学区審議会から答申をいただき、統合校の位置を千代田中学校敷地内と改訂したところです。志筑小学校の保護者の皆様には、今後も丁寧に説明し、理解を得る努力をしております。統合してよかったと思えるような学校にするため、平成34年度の開校に向けて、全力で取り組んでまいります。
③	児童数減の傾向はある時点では止まるかもしれないが、このままで続くものと考えられます。地域外での子育て世帯が当地に帰っていただくには、地域文化を支える碑として、少なくとも小学校ぐらいは近くに残すべきと考えます。	小学校を統合し、小中一貫教育の推進を魅力あるものとすることで、地域へ人を呼び込むことを考えております。
④	千代田中学校の存続についてもこのままの傾向が続けば何れは単学級の時代が来るものと思われまます。その際にどうするかを考えるならば、千代田中地区の小学校の統廃合を行う前にその道筋を考えるべきものと思います。	5-③と重なりますが、小中一貫教育の推進を魅力あるものとするとともに、地域の特性を踏まえたうえで、地域と連携を図りながら特色ある学校をつくることで、地域へ人を呼び込み、学校の存続を目指してまいります。
⑤	基本方針の策定・小規模校の統廃合については、小さな学校で子供たちを育てる手筈を整えてからでもよいものと思います。他の地域の保護者の皆様にも今一度自身の所の再発見をし小規模校での教育の提案をしては如何でしょうか。	ご指摘の小規模校の良さも確かに考えられることですが、学校教育での「集団の中で自らの能力を主体的・積極的に発揮する力」を育むためには、適正な規模で、多くの児童の中で多様な考え方にふれあいながら好ましい人間関係を築いたり、集団を通して切磋琢磨したりする体験をすることが必要と考えております。